

2015年8月3日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No. 9)

「女子大生の誕生日プレゼント事情」に関する調査結果 ～親友と友人ではプレゼント金額の上限に 3000 円以上変化～

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「誕生日プレゼント事情」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は41サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学(担当:竹内光悦)」、「経営学(担当:篠崎香織)」、「マーケティング(担当:斎藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生の誕生日プレゼント事情について、41サンプルの実践女子大生から回答を得た。

誕生日プレゼントを決める際に参考になっているものとしては、回答した実践女子大生の半数がインターネットを挙げた。[図1][図2]

誕生日にもらって嬉しかったプレゼントについては、色紙・アルバムと回答した人が13人(28%)、化粧品とアクセサリーが9人(20%)ずつと、これらが特に多く回答された。一番回答数の多かった色紙・アルバムはサブのプレゼントであり、メインのプレゼントで人気なのは、化粧品やアクセサリーであることが推測される。[図3]

誕生日にもらったが使わなかったプレゼントについては、入浴剤と回答した人が最も多く(9人・45%)、この結果から女子大生の誕生日プレゼントに入浴剤は不人気であることがわかった [図4]

親友と友人それぞれにあげたことのあるプレゼントとしては、親友へのプレゼントの方がアクセサリー、化粧品のような好みが出るものをあげたことがあると回答した人が多く、親友には欲しいと思っているものを、友人には好みに左右されにくい食事などをプレゼントするということがうかがえる。[図5][図6]

プレゼントの上限金額は親友、友人共に1001～3000円と回答した人(親友19人、友人25人)が多かった。しかし親友では7001円以上と回答した人(3人)がいたが友人ではいなかったため、親友へのプレゼントの方が予算を多くかけられることが分かった。[図7][図8]

さらに、サプライズを行ったかに関しては、親友では78%(32人)、友人の場合では63%(26人)と親友の方が多かった。[図9][図10]

これらのことから、友人よりも親友の誕生日に関しての方がより相手に喜んでもらいたいという感情になるのではないかと考えられる。

親友と友人の誕生日プレゼントにかけられる金額の上限と月に自由に使える金額を相関し、比較したが、差はほとんど見られなかった。[図11][図12]

調査結果のポイント

(1)誕生日プレゼントを決めるときにインターネットを参考にする人が半数以上

誕生日プレゼントを決めるときに参考にしているものがあるかと尋ねたところ、「参考にしているものがある」と回答した人は33人(80.5%)で、全体の8割をしめた。[図1]

誕生日プレゼントを決めるときに「参考にしているものがある」と回答した33人は、その6割がインターネットを参考にしていると回答し、「参考にするものはない」と回答した人を含めた全体でも50%以上となった。[図2]

(2)女子大生のプレゼントには化粧品やアクセサリが人気、一方入浴剤は不人気

誕生日にもらって嬉しかったプレゼントを尋ねたところ、色紙・アルバムと回答した人が13人(28%)、化粧品とアクセサリが9人(20%)ずつと、これらが特に多く回答された。一番回答数の多かった色紙・アルバムはサブのプレゼントであり、メインのプレゼントで人気なのは、化粧品やアクセサリであることが推測される。[図3]

また、誕生日にもらったが使わなかったプレゼントも尋ねたところ、入浴剤と回答した人が9人(45%)と最も多く、この結果から女子大生の誕生日プレゼントに入浴剤は不人気であることがわかった。[図4]

(3)親友と友人への誕生日プレゼントでは親友の方が重視する

親友と友人それぞれにあげたことのあるプレゼントを尋ねたところ、親友へのプレゼントの方がアクセサリ、化粧品、衣類のような好みが出るものをあげたことがあると回答した人が多かった。親友には欲しいと思っているものを、友人には好みに左右されにくい食事などをプレゼントするということがうかがえる。(図3.4)また、プレゼントの上限金額を尋ねたところ、親友、友人共に1001~3000円と回答した人(親友19人、友人25人)が多かった。しかし親友では7001円以上と回答した人(3人)がいたが友人ではいなかったため、親友へのプレゼントの方が予算を多くかけられることが分かった。(図5.6)さらに、サプライズを行ったかに関しては、親友では78%(32人)、友人の場合では63%(26人)と親友の方が多かった。(図7.8)

これらのことから、友人よりも親友の誕生日に関しての方がより相手に喜んでもらいたいという感情になるのではないかと考えられる。

(4)月に自由に使える金額による親友・友人への誕生日プレゼントの金額の上限に変化なし

親友と友人の誕生日プレゼントにかけられる金額の上限と月に自由に使える金額を相関し、比較した結果、差はほとんど見られなかった。[図11][図12]

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象:実践女子大学渋谷キャンパス在学生
2. 調査方法:質問紙によるアンケート
3. 調査期間:2015年7月13日(月)~2015年7月17日(金)
4. 有効回答者数:41名
5. 回答者の属性:【実践女子大学生:学年】3年:100%

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 高玉有咲

3年 西谷萌

3年 宮森佳純

3年 吉田成美

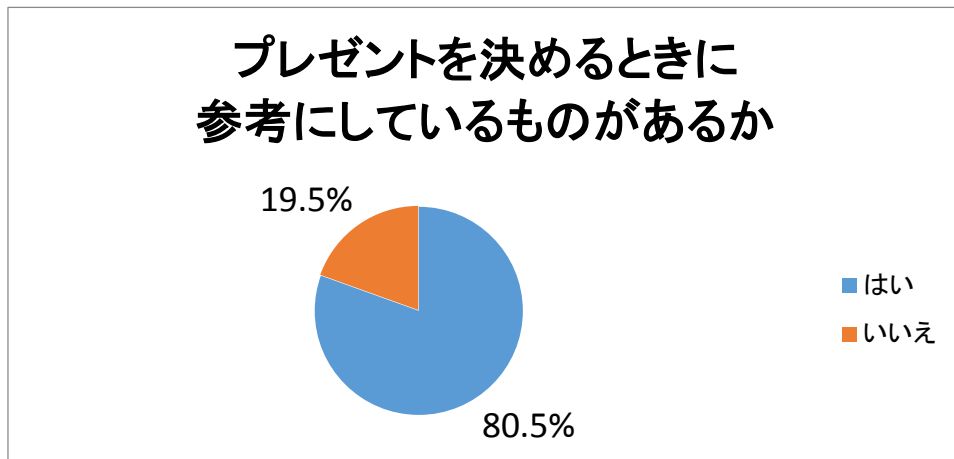
調査結果データ

(1)誕生日プレゼントを決めるときにインターネットを参考にする人が半数以上

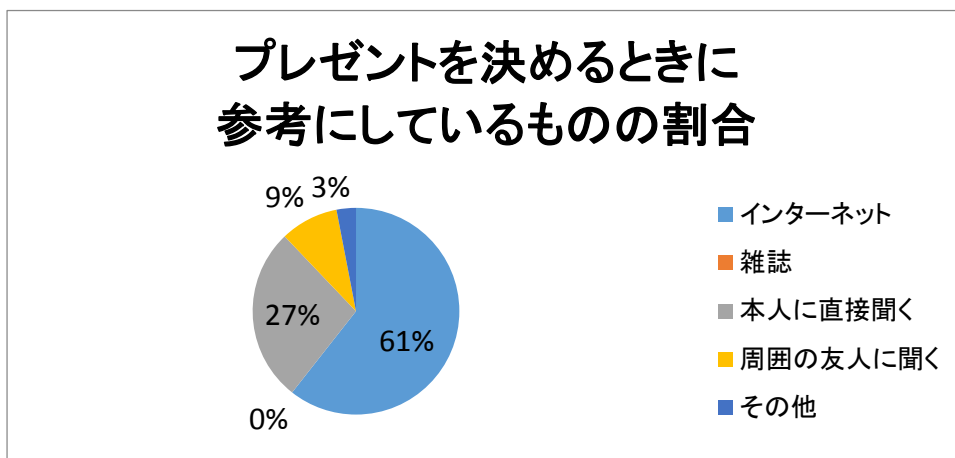
誕生日プレゼントを決めるときに参考にしているものがあると回答した人は 33 人(80.5%)、参考にしているものはないと回答した人は 8 人(19.5%)で、誕生日プレゼントを決めるときに参考にしているものがあると回答した人は全体の 8 割だった。[図1]

参考にしているものとしてはインターネットが 20 人、本人に直接聞くが 9 人、周囲の友人に聞くが 3 人、その他として本人の持ち物が 1 人という結果になった。調査票の選択肢にあった雑誌と回答した人は 0 人で、女子大生は誕生日プレゼントを決めるときに雑誌を参考にする人が少ないことがうかがえる。誕生日プレゼントを決めるときに参考にしているものがあると回答した人の中で、インターネットを参考にする人は 60%以上であり、参考にしないものはないと回答した人を含めた全体でも 50%以上となった。[図2]

また、参考にしているものはないと回答した 8 人のうち、5 人が自分でプレゼントを考える、3 人が店に入ってからプレゼントを考えたと回答した。



[図1]プレゼントを決めるときに参考にしているものがあるか (n=41)



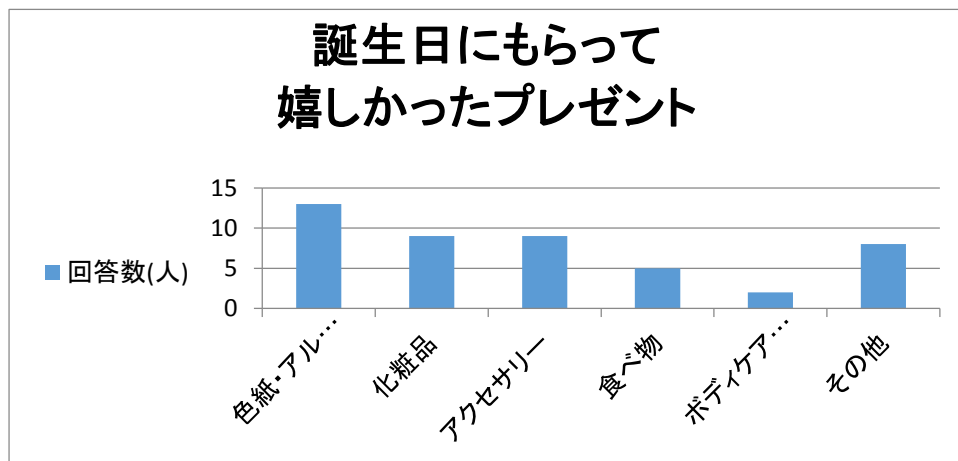
[図2]プレゼントを決めるときに参考にしているものの割合 (n=33)

(2)女子大生のプレゼントには化粧品やアクセサリが人気、一方入浴剤は不人気

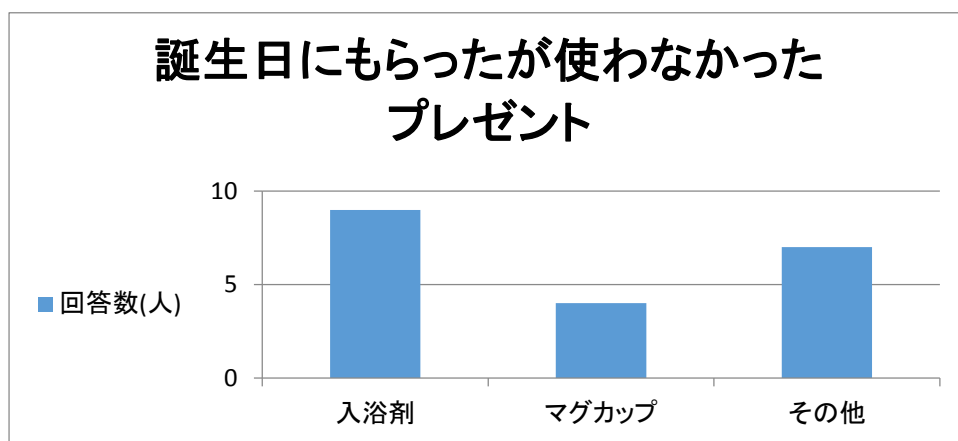
誕生日にもらって嬉しかったものを尋ねたところ、色紙・アルバムと回答した人が 13 人(28%)、化粧品とアクセサリが 9 人(20%)ずつ、食べ物(食事も含む)が 5 人(11%)、ボディケア用品が 2 人(4%)、その他が 8 人(17%)という結果になった(複数回答可)。

一番回答数の多かった色紙・アルバムはその他のプレゼントと一緒に選ばれた傾向があり、それらは単体でもらったのではなく、サブのプレゼントであることがうかがえる。そのためメインのプレゼントで人気なのは、化粧品やアクセサリであることが推測される。また、その他のプレゼントとしては、部屋着、財布、文房具や傘などの実用品が挙げられた。[図3]

誕生日にもらったが使わなかったものも尋ねたところ、入浴剤と回答した人が 9 人(45%)、マグカップが 4 人(20%)、その他が 7 人(35%)という結果になった(複数回答可)。その他のプレゼントとしては自分の好みではないもの、年齢不相应なスキンケア商品、目覚まし時計などの雑貨が挙げられた。この調査から女子大生の誕生日プレゼントに入浴剤は不人気であることがわかった。しかし誕生日にもらって嬉しかったものよりも回答数が少ないことから、女子大生はもらったプレゼントは基本的に使用していることが推測される。[図4]



[図3]誕生日にもらって嬉しかったプレゼント(n=40)



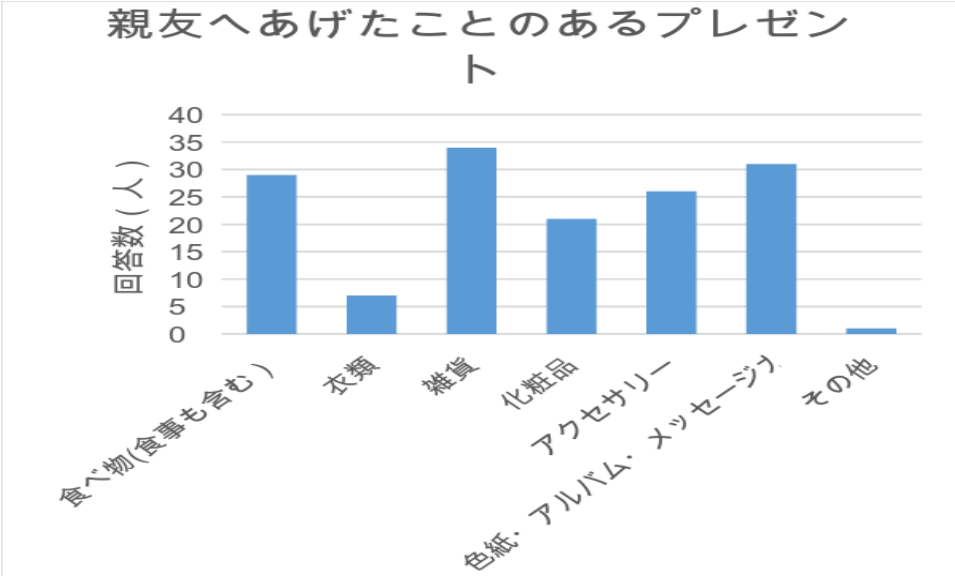
[図4]誕生日にもらったが使わなかったプレゼント(n=20)

(3)親友と友人にあげる誕生日プレゼントでは意識に差が出る

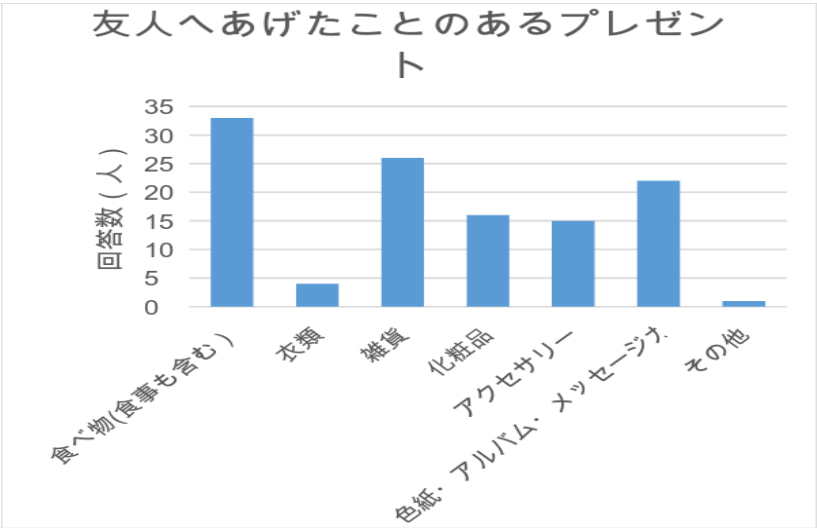
親友にあげたことのある誕生日プレゼントでは雑貨が34人と最も多く、次いで色紙・アルバム・メッセージカードが31人、食べ物(食事も含む)が29人という結果になった。それに対し友人への誕生日プレゼントでは、食べ物(食事も含む)が33人と最も多く、次いで雑貨が26人、色紙・アルバム・メッセージカードが22人という結果になった。両方で大きな差はないが、友人の場合のほうがプレゼントのあげやすさや選択のしやすさを重視しているのではないかとみうけられる。[図5][図6]

誕生日プレゼントの金額の上限では、親友と友人どちらの場合も1001~3000円と回答した人(親友19人、友人25人)が多かった。しかし、友人では7001円~10000円、10000円以上と回答した人が0人だったのに対し、親友の場合では7001円~10000円が2人、10000円以上と回答した人が1人いた。また、金額の上限が1000円以下と回答したのが、親友では1人だったのに対し、友人では6人であった。これらの結果から、親友へのプレゼントのほうが出せる金額の上限が高いということがわかった。[図7][図8]

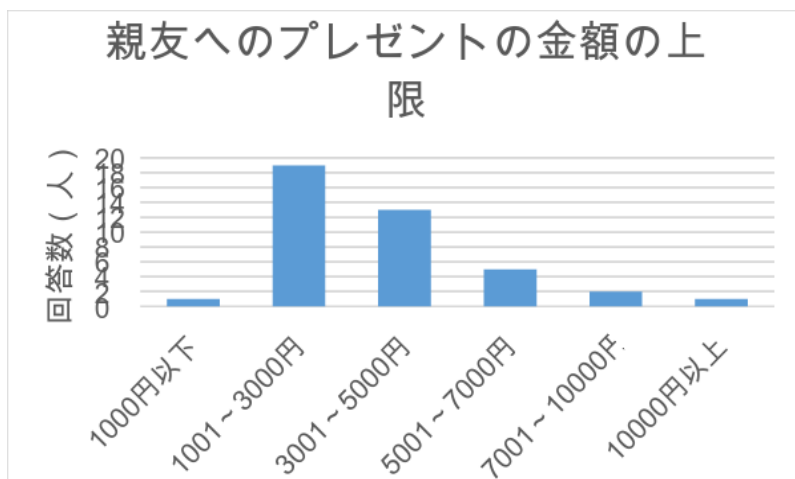
誕生日の際、サプライズをしたことがあるかについては両者に大きな差はなかったが、サプライズをしたことがあると回答した人が親友では78%(32人)、友人の場合では63%(26人)と親友のほうが多いという結果になった。[図9][図10]



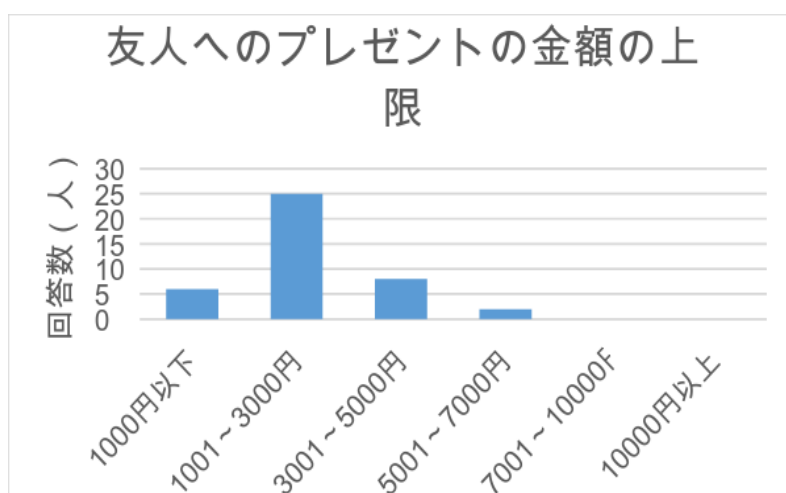
[図5]親友にあげたことのある誕生日プレゼント(n=41)



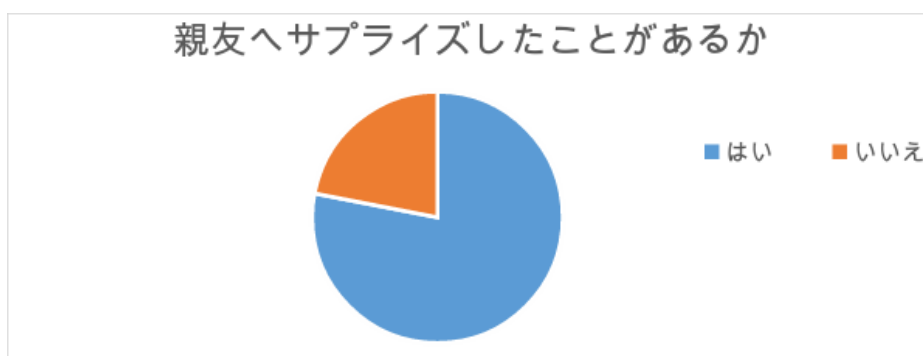
[図6]友人にあげたことのある誕生日プレゼント(n=41)



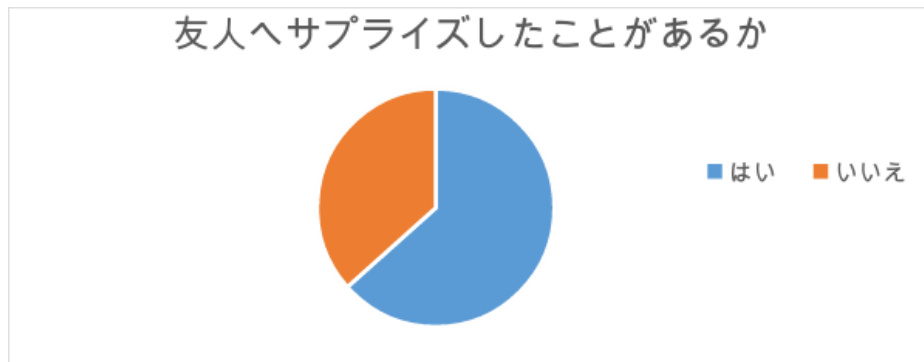
[図7]親友へあげる誕生日プレゼントの金額の上限(n=41)



[図8]友人へあげる誕生日プレゼントの金額の上限(n=41)



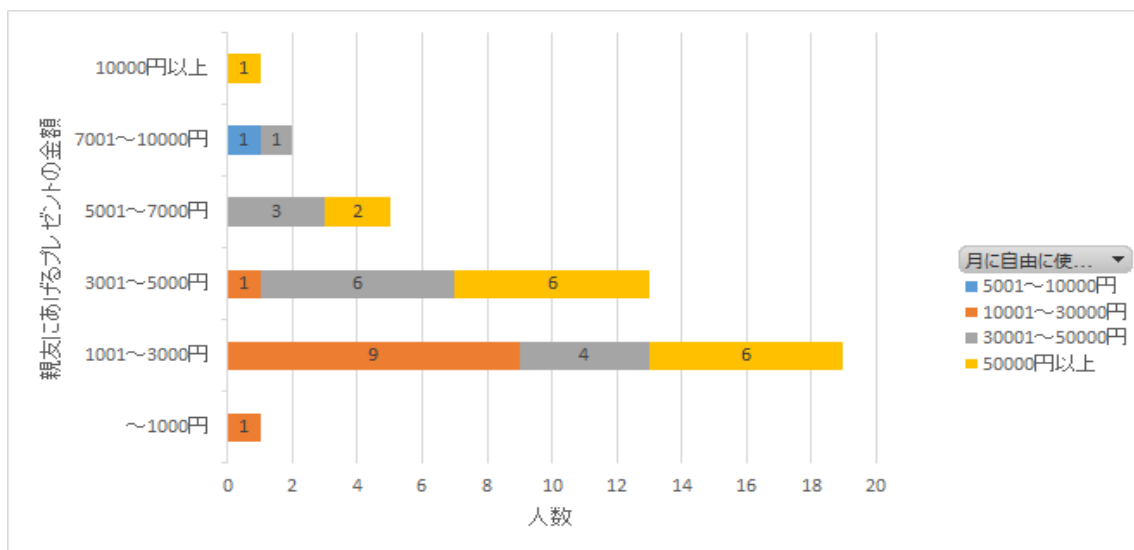
[図9]親友へサプライズをしたことがあるか(n=41)



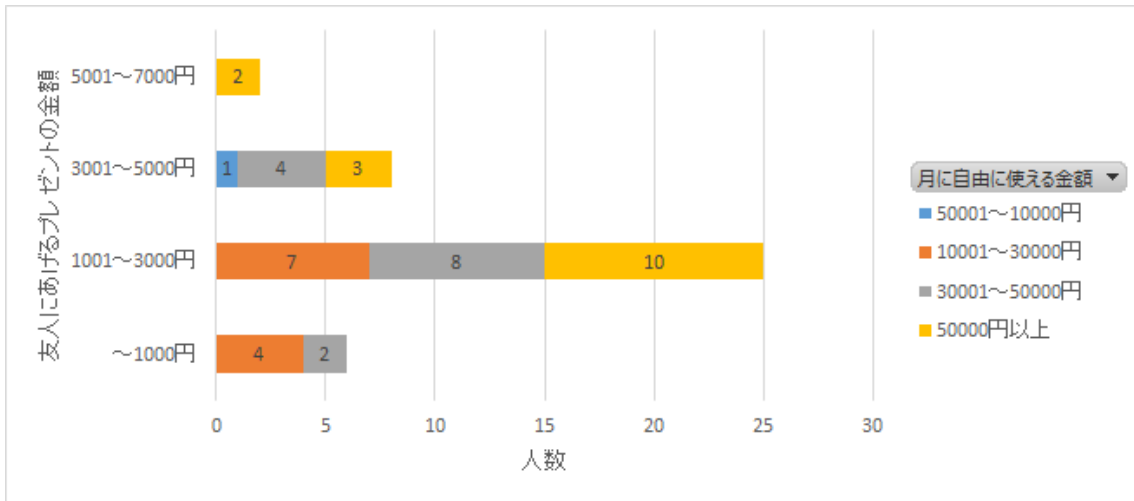
[図10]友人にサプライズをしたことがあるか(n=41)

(4)月に自由に使える金額による親友・友人への誕生日プレゼントの金額の上限に変化なし

親友にあげるプレゼントの金額の上限と月に自由に使える金額を相関したものと、友人にあげるプレゼントの金額の上限と月に自由に使える金額を相関したものを比較したが、あまり大きな差は出なかった。[図11][図12]



[図11]親友にあげるプレゼントの金額の上限と月に自由に使える金額を相関したもの(n=41)



[図12]友人にあげるプレゼントの金額の上限と月に自由に使える金額を相関したもの(n=41)